

# 久工大だより

Kurume Institute of Technology

## 第51号

久留米市上津町2228-66  
TEL (0942) 22-2345 (代表)  
FAX (0942) 21-8770

<http://www.kurume-it.ac.jp>

発行・編集/久工大だより編集委員会

本学では、教育を質的に充実させるため、組織の変更（教育創造工学科と大学院自動車システム工学専攻の新設）、各学科教員の大幅な配置換えと、有能な教員の採用、あるいは各学科の特徴的な誇るべき設備の導入、などの改革を進めてきました。本年度はこのようなことを駆使した充実の年であると位置づけています。各教職員のはっきりとした腰を据えた上滑りのしない充実と奮起を期待します。

「皆さんに心の和みと豊かさを伝えたい」とおっしゃっていたと思います。お二人の言葉が本学の「建学の精神」にぴったりであることに驚くとともに、本学の工学教育に心の面から指導していただいている、本学が「生まれ変わる」ことに誇りに感じています。



学長 深野 徹

生まれ変わる  
久留米工業大学

## 久留米工業大学の客員教授に、画家の鶴田一郎さん！

2面

### 新後援会長挨拶

一木 謙次

久留米工業大学後援会は会員の皆様、歴代会長をはじめ役員、熱意溢れる教授、スタッフの皆様により、学生の教育活動援助の環境も整い、今日に至っております。科学技術の大学としての地位を確立し、伝統と建学の精神を守り、日々進化を続けています。学生諸氏、ご家庭との連絡等を密にし、大学院進学、就職、社会に巣立つ日まで応援致します。

### 後援会新役員紹介

<b>会長</b> 一木 謙次 (交通機械工学科)	<b>理事</b> 中原 賢勝 (建築・設備工学科)
<b>副会長</b> 榎林 康弘 (建築・設備工学科)	〃 倉員 明宏 (建築・設備工学科)
<b>監事</b> 服部 親志 (交通機械工学科)	〃 西村 鶴敏 (情報ネットワーク工学科)
<b>理事</b> 岡島 晴樹 (機械システム工学科)	〃 吉田 正二 (情報ネットワーク工学科)
〃 中尾 公紀 (機械システム工学科)	〃 甲木 弘文 (環境共生工学科)
〃 大石 裕人 (交通機械工学科)	〃 黒岩 益雄 (教育創造工学科)
〃 篠原 武弘 (交通機械工学科)	〃 坂井 隆文 (別科)
	〃 渡邊 孝司 (大学・総括参与)

### 平成19年度 保護者懇談会日程

9月9日 (日)	福岡会場 (福岡国際ホール) 熊本会場 (アークホテル熊本) 佐賀会場 (ホテル山水荘) 鹿児島会場 (鹿児島商工会議所) 長崎会場 (ミナトパーク長崎) 山口会場 (宇部全日空ホテル)
9月15日 (土)	久留米会場 (久留米工業大学) 宮崎会場 (宮崎観光ホテル) 沖縄会場 (ホテルロイヤルオリオン) 大分会場 (大分ワシントンホテルプラザ) 松山会場 (松山シティホテル) 広島会場 (リーガロイヤルホテル広島)

久工大 女子駅伝部が九州代表として  
第25回 全日本大学女子駅伝対校選手権大会に出場決定！  
10月28日 宮城県仙台市で開催



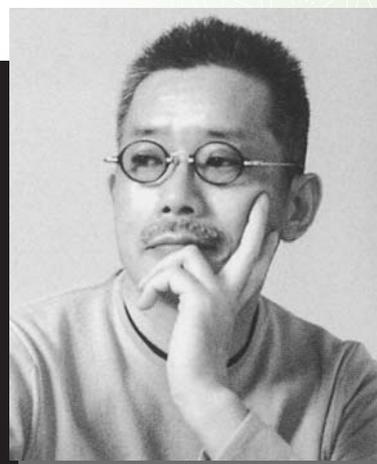
## 客員教授

画家・イラストレーター

# 鶴田一郎さん

### プロフィール

多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。卒業後、フリーのイラストレーターになり、リアルなイラストレーションを中心に、ブックカバー、レコードジャケット、広告など多方面の仕事を手がける。



## 工学には「美しさ」というスパイスが必要

客員教授のお話をいただいた際、深野学長から「大学が育てる技術者に豊かな感性と表現する力を備えさせたい」と伺いまして、大変感銘を受けました。よくよく考えますと、たしかに「工学」と「絵画」との間には多くの共通点があります。例えば工学には「機能性」と「美しさ」が求められますが、ここには「感性」と「表現力」が不可欠です。ならば私にできることは、美しさや和のなごみをもたらす「感性」や

「表現力」というスパイスを、大学の技術教育に加えることではないかと思い、お引き受けすることにいたしました。

「美人画」を創作する際、作品を通してなにを訴えるのか、それをどう表現していくかを考えることから始まります。この間、私自身の感覚と観賞者との感性とのせめぎ合いです。ひたすら葛藤と試行錯誤を繰り返す。そうして素描まで描きあげたら、その絵を一番引き立てる色、観

賞者が美しさやなごみを感じる色を選ぶというプロセスを経ます。このような経緯や、造形・図案・色彩についての知識と技術を少しでも学生の皆さんに伝えることができればいいと考えています。学生の皆さんとの交流も楽しみの一つです。将来、工学技術者を目指す学生の皆さんを、芸術の面から支援できるという喜びも得られるのではないかと期待しています。

# 新しい久留米工業大学

## 新しい学科を設置

教育創造工学科  
学科長 渋谷 憲政



理科実験室(化学・生物学・地学)

新学科がいよいよスタートしました。新1年生は明るく元気のよい学生たちです。協調性があり、まとまりのよいクラスになっています。教育創造工学科では理科、数学、情報の教員免許が取得できます。2教科の教員免許を取得できることが本学科の特色です。工学部にある教員養成課程は全国的に見てもほとんどありません。工学部の特性を生かし、物づくりに強い教員を育てていきます。また、生き物に触れ、観察できる情緒豊かな人間も育てていきます。すでに菊池渓谷での水質調査などを行いました。今後は「野外活動」を計画しています。理科実験室も整備され、生物、地学の実験室が新しく設置されました。セミナー室も学生たちに開放されています。新学科でもあり周囲からの期待も大きいですが、教育創造工学科の教員一同、熱意を

もって懇切丁寧な教育を行ってまいりますので、よろしくお願い致します。

## 大学院に新しい専攻

自動車システム工学専攻  
専攻長 渡邊 孝司

平成19年4月から大学院工学研究科に「自動車システム工学専攻」(修士2年課程)が新設されました。本専攻は先進自動車技術、電子制御技術等に関わる開発、研究、設計および生産技術に対応できる高度専門技術者の育成を目的としており、一級小型自動車整備士養成課程も併設しています。



一級自動車整備技術教育センター

カリキュラムは自動車システム基礎科目、内燃機関、自動車工学、開発・設計、生産工学、安全・環境工学の5つの学問分野からなります。教授陣は「エネルギーシステム工学専攻」から5名と大手自動車製造企業や日本自動車研究所(ARI)などの開発・研究・設計実務経験者の3名を迎えて、

先進の自動車技術教育に対応しています。

大学院修了後は北部九州地域に集積しているトヨタ、日産、ダイハツなどの自動車製造企業に加えて、関連の自動車産業界等で活躍できる高度専門技術者を目指して欲しいと期待しています。また、一級自動車整備士養成課程の修了者は、高度専門知識を身に付け、先進の自動車技術や電子制御技術に対応できる一級整備士として業界で活躍できることを期待しています。

平成19年4月から大学院工学研究科に「自動車システム工学専攻」(修士2年課程)が新設されました。本専攻は先進自動車技術、電子制御技術等に関わる開発、研究、設計および生産技術に対応できる高度専門技術者の育成を目的としており、一級小型自動車整備士養成課程も併設しています。

## 機械システム工学科にロボット工房の開設

学科長 井上 利明



ロボットは(1)力と機構、(2)電気と電子、(3)プログラミングと制御の3分野の知識を基に製作されます。機械システム工学科ではロボットなどの製作を通してモノづくりの教育の充実に取り組んでいます。その一環として平成18年に(2)および(3)分野のロボティクス演習室を開設しました。さらに平成19年4月に(1)分野のロボット工房を開設しました。卓上旋盤と卓上フライス盤がそれぞれ3台設置されています。ロボットのみならず小規模機械装

置の製作に必要な材料の加工を行うことができます。創造工房との連携でモノづくりに堪能な技術者を育成する環境が整いました。

## 情報ネットワーク工学科に3次元VRシステム導入

学科長 牧之内 顕文

本学では、先進的ビジュアルテクノロジー教育環境として、2007年3月に3次元没入型VRシステムを導入しました。機械製品の設計・整備のシミュレーション、建築・設備の設計評価など、ビジュアルテクノロジー教育を中心に広く活用できます。本装置は、九州地区初導入のクリスティ・デジタル・システム製 HoloStage<sup>®</sup>、正面と床面の大画面スクリーン縦2.8m、横2.1mに、立体映像が表示されるばかりでなく、同じ空間にいる操作者は、両手のグローブで仮想物体を触ることができます。



3次元VR実習室

## ものづくりのための創造工房を開設

工房長 井上 利明

モノづくり実践教育の

一環として平成19年4月に創造工房を開設しました。創造工房には旋盤、フライス盤、ボール盤などの工作機械が設置されています。加工実習教育がより充実した内容で行えるようになります。全学の教職員及び学生を対象に利用することができ、モノづくり支援を行います。例えば、教育のための資料づくりや実験研究に必要な設置、部品などを工房で加工することが出来ます。学生はクラブ活動や自主活動などで利用することが出来ます。設計図の描き方・読み方、製作の手順・方法および機械の操作なども指導します。利用規定と安全管理を熟読の上、気軽にご利用ください。



## 環境共生工学科に自然環境施設を設置

学科長 蓮山 寛機

「ピオトープ」って聞いたことがありますか。発祥地は環境先進国ドイツで、Bio(生物)とTope(空間)の合成語といわれ、さまざまな生物が息をする本来の生態系が保たれた空間を意味します。本学科では、環境学習「フィールドワーク」という授業科目の中で、毎年希望者(3年次生)を



自然環境施設(ピオトープ)



海外研修(主にドイツ)に引率しており、そこで環境学習施設(エコステーション)の見学・学習がピオトープ開設の発端になっています。

「自然環境施設」は池2つとその周辺から成る「ピオトープ」とログハウス「自然環境観測施設」から構成され、微生物の観察や酸性雨の影響を調べることが出来ます。自然エネルギーも学習できるよう、屋根にソーラーパネル(出力120W)を2枚取り付けています。学生たちは今年度から「環境生態学」基礎生物学等の授業で学習しています。現在、オオシオカラトンボやマツモムシなど約10種類の昆虫およびカズノコグサ、スズナ、キキョウソウなど約40種類の植物が息しています。場所は大学の西端、第6駐車場の北側です。どうぞおいで下さい。

# 新任の先生紹介

本学に赴任する前は、茨城県のつくばにあり、日本自動車研究所で、いかに事故に遭遇しないかに焦点を当てた予防安全研究に従事して参りました。本学では、引き続き交通安全に関する教育および研究を行う予定です。今年からは、自動車通学をしている学生を対象に、ドライブレコーダーを用いた、交通安全(運転マナー)教育を始めたいと考えております。よろしくお願ひ致します。



交通機械工学科  
片山 硬 教授

九州工業大学卒業後、ダイキン工業や九電工で12年間人工知能技術を取り入れた多種の製品開発や研究を行い、昨年度まで大分県産業科学技術センターに所属しておりました。これからは学生のみならずと一緒に、企業との共同研究を主にした、ロボットに関する実務的な研究を行っていきたくと楽しみにしております。今後ともご指導のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。



機械システム工学科  
白石 元 准教授

私は、1966年に九州大学工学部合成化学科を卒業後、同大学院にて工学博士の学位を取得し、その後九州大学と九州工業大学で研究と教育に従事しました。専門は、機能性金属錯体の合成や簡易分析法の開発に関する研究で、本学においては、主に化学関連の科目を担当します。最近では、健康維持のためにウォーキングを楽しんでいます。



環境共生工学科  
坂田 一矩 教授

**最終学歴**：名古屋大学大学院工学研究科博士課程(航空宇宙工学専攻)  
**専門分野**：自動車空力デザイン、デルタ翼(宇宙往還機)などの主翼の空力  
**コメント**：自動車メーカーでスポーツカーの空力デザイン開発に従事しておりました。学問の楽しさや素晴らしさを皆さんと共に感じる事ができれば幸いです。皆さんの未来が希望に満ち溢れたものになるよう全力でサポートします。



交通機械工学科  
東 大輔 講師

新設学科で生物学と理科教育を担当します。昨今の子ども達の自然科学離れは深刻で、学校現場では実践力のある教師が求められています。もの創りをテーマとした学科で、実験・観察力に長けた教師を養成する夢を描いています。これまでメダカやホヤを材料とした神経生理学や生物教育学を中心に研究してきましたが、現在は専ら教育実践と脳科学との融合をテーマに考察を進めています。



教育創造工学科  
岩切 稔 教授

私は、コンピュータグラフィックス(CG)関連の担当として、本年4月より情報ネットワーク工学科に着任しました。専門はCGを用いた顔表情や仮想身体表現です。CGを介して、医学や工学といった様々な分野とデザインを連携させ、論理と感性を融合しながら高度な視覚情報の表現に取り組んでいます。



情報ネットワーク工学科  
河野 央 講師

私は本学交通機械工学科を平成9年に卒業と同時に日産自動車ディーラーへ整備士として入社し、自動車整備技術者として経験を積み、様々な方々の御指導により日産1級並びに国家1級整備士資格を取得し、本年4月より母校である本学に入職する事になりました。教育という現場は初めてでも不安はありませんが、一日でも早く整備技術者の育成においてお役に立てるよう精進する所存ですので、よろしくお願ひ致します。



別科  
松村 光晃 講師

こんにちは。環境共生工学科のグレゴリー・フラティッチと申します。オーラルイングリッシュと工業英語を担当しています。アメリカの出身で5年前に日本に参りました。大学では理学を専攻し、大学院では教育学を学びました。10年間英語を教えています。趣味は合気道や登山・サイクリングなどです。よろしくお願ひ致します。



環境共生工学科  
グレゴリー・フラティッチ 講師

私、今年の4月より本学の創造工房に勤務しています。昨年の8月末迄、大手靴メーカーに37年間勤務しました。その殆どが靴の製造部門でした。特に金型、機械設備関連業務が長く、原型となる軟質塩ビやポリウレタン等のインジェクション成型、ゴムプレス成型等の製作に携わりました。又海外(台湾、中国他)指導も多数経験しましたので何かのお役に立てれば良いなと思っております。今後共宜しくお願ひ致します。



創造工房  
篠原 清一 技術職員

平成19年度人事異動により、3月31日をもって県立高校を定年退職いたしました。高松教授の後任として本年度からお世話になります。微力ではありますが37年間、県内の高等学校で教諭、管理職として勤務した経験が本学発展に寄与できれば幸いです。どうかよろしくお願ひいたします。



教職課程  
坂本 和光 教授

平成19年度

## オープンキャンパス日程

- 第1回目 7月14日(土)
- 第2回目 8月4日(土)・5日(日)
- 第3回目 9月22日(土)

## 一級自動車整備技術教育センター開設

5月21日(月)、一級自動車整備士を養成する技術教育センター(延べ床面積約340㎡)の開所式を行いました。大学院における自動車工学を専門とする「自動車システム工学専攻」及び「一級自動車整備士養成課程」は、国内初で全国から注目されており、また、一級自動車整備士養成施設は九州・沖縄地区では2番目の開設校です。また、同センターは、県の自動車産業人材育成講座の研修所としても利用されます。開所式には国土交通省を始め県や市の行政や地元企業関係者約30名が出席されました。



新入生オリエンテーション

機械

4月13日(金)、14日(土)にグリーンピア八女で宿泊オリエンテーションを実施しました。

機械システム工学科では、将来の目標を定めるための4年間の履修指導を行うために、また、学生同士および学生と教員の交流を深めることを目的としています。1泊2日の短い時間でしたが、いろんな触れ合いができ、新入生および編入生にとって大変好評でした。

交通

快晴の5月28日、中津江オートポリスにてモーターレースの観戦をしました。レースはGP125クラスから1000ccまで、特に圧巻だったのがJSB1000の決勝、日本の四大メーカーが威信をかけての激突とスーパライダー達がマシンを巧みに操るバトルには迫力がありました。学生達は国内最高峰のレースを堪能しました。ただ午前中に発生した事故の為に最終まで観戦できなかったのが心残り、しかし、オリエンテーションの目的を果たしたと信じています。

建築

4月25日(水)に、長崎県佐世保市のハウスステンボスにてオリエンテーションを行いました。現地では一般客が入らない施設裏側の見学から始めました。そこには大規模なコージェ

ネレーション型の熱供給設備や水質浄化設備があり、環境共生技術の実際と、その重要性を学びました。午後は晴天の下、ハウスステンボス内での自由行動となり、オランダ風の街並みや数々のアトラクションを楽しみながら、新入生同志の親睦を図りました。



情報

三井グリーンランド(4月14日)と九州国立博物館(5月30日)において新入生学外オリエンテーションを行いました。三井グリーンランドでは、昼食時間を利用して参加者全員が自己紹介を行い、大いに盛り上がりました。

また、九州国立博物館では特別に研究員の方々より、博物館の情報システムやX線CTを用いた文化財の調査・研究など多岐のテーマについて興味深い説明を受けることができ、充実した研修を終えることができました。

環境

環境共生工学科では毎年「フレッシュマンセミナー」の授業を兼ねた新入生

オリエンテーションを行っており、本年は4月13日(金)、14日(土)に実施しました。第1日目は三浦郡大木町の環境センター「くるるん」においてバイオマス発電施設を、第2日目には熊本県西原村のウインドファームの風力発電施設を見学し、新エネルギーに関する学習を行いました。

宿舎の山鹿富士ホテルでの研修では、自己紹介、学科やコースの紹介など、フィールドワークの紹介など、4年間の履修の流れを説明し、目標を持つて学生生活を送るための指導をしました。研修を通して学生同士や教員との親睦も図ることができ、有意義な研修となりました。

教育



生オリエンテーションを、4月25日(水)に熊本県小国町の学びの里「木魂館」で実施しました。研修室では動物の自然観察の仕事などについて学習し、昼食後くじゅう花公園と菊池渓谷に移動し学生とのレクリエーションや水生動物の観察を行いました。

この研修を通して、学生相互および教員との親睦が深められ、また自然観察の楽しさを体験することができたと思われれます。

別科

別科では、4月20日(金)に、学生間の親睦と自動車の製造における組立工程見学を目的として日産自動車(株)菊田工場へバス研修旅行を実施しました。組立ラインでのロボットによる溶接作業や組立作業をする人達のテキパキと働いている姿に驚いていました。

また、工場で作成している新車やスカイラインGTの展示物を見てゲストホールのスタッフに質問したりして興味深く接していました。

女子

4月27日(金)28日(土)の1泊2日、筑後川温泉(ゆの郷ちくご)において女子学生オリエンテーションを実施しました。このオリエンテーションは、新入女子学生同士はもちろん、先輩女子学生や女性教員との親睦を深めることができ、今年も1年生女子全員が参加しました。

学内では少数である女子学生が大学生活を支援なくすように先輩女子学生や教員が、講義、就職、部活、友人関係などについてアドバイスをしたり、女子学生へのハラスメント防止を目的とした指導も行い、新入生は熱心に話を聞いていました。自由時間には、温泉に入ったり、おしゃべりをしたりして、とてもにぎやかではなやか(つな)なオリエンテーションとなりました。

平成19年度 公開講座日程

Table with 3 columns: 講座名, 講座内容, 開催日時. Lists various public lectures including topics like solar cars, robots, and computer skills.

トピックス

(財)吉田学術教育振興会より学術奨励金贈呈

本学、交通機械工学科の渡邊孝司教授に財団法人吉田学術教育振興会より学術奨励金が贈呈されました。

去る、3月23日(金)大電株式会社(久留米市)において平成18年度学術奨励金贈呈式が執り行われ、吉田暁生理事長より目録が贈呈されました。式終了後には、研究内容の紹介があり、渡邊孝司教授は、「エジェクタ式マイクロバブル混入燃料によるディーゼル機関の燃焼改善」について詳しく紹介されました。



自動車産業人材育成講座開催!

平成19年度「自動車産業人材育成講座」(福岡県若年者しごとサポートセンター主催)が開催されました。

久留米地区研修としては、5月22日(火)~25日(金)までの3泊4日で開催され、その内3日目の24日(木)の実技技能訓練は、本学の開所したこの一級自動車整備技術教育センターを研修場所として実施されました。

大牟田高校より大学見学

4月27日(金)、大牟田高校の生徒139名、教員7名が進路啓発研修の一環として来学されました。深野学長のあいさつ、高橋入試副委員長から本学の概要説明の後、6班に分かれ、各学科の特色ある施設設備の見学を行いました。

平成19年度ものづくりフェスティバル

6月10日(日)に工業高校生の「ものづくり」技術の向上や進路に関する目的意識を高め、また、小・中学生に対して「ものづくり」への興味・関心を高めてもらうと「平成19年度ものづくりフェスティバル」が、本学を会場として開催されました。

当日は、「第6回工業高校生ものづくりコンテスト福岡県大会」の他、小・中学生の方を対象とした各種体験コーナー、作品等の展示、その他各種イベントも同時に開催されました。



久留米工業大学 名誉教授称号記授与式

5月30日(水)名誉教授称号記の授与式が挙行されました。

今年度新たに名誉教授の称号記が授与されたのは、交通機械工学科の馬場紘彦元教授で、勤続30年の永きにわたり、教育・研究はもとより、大学の発展に対し多大なるご尽力をいただき、その功績が認められたことにより授与されました。



就職活動

立場を変えてみたら...



2007年3月 機械システム工学科卒業 安 盛 盛

私は韓国人で、2年前前に優れた機械技術を学ぶために日本に留学しました。3年次編入をして2年間の学生生活を無事に終え、現在はタキゲン製造(株)で働いています。

韓国から日本に来た当初から日本の企業への就職を希望していました。

私が就職活動で一番苦労したことは、私を必要とする企業探しでした。私の母とリットとしては韓国語とやる気しかなかったからです。

私は、4年生になってから本格的に就職活動を始めました。自らは入れそうない企業は見つかることができず、先生から紹介していただきました。

先生から紹介していただいた日から、会社の情報を得るためにインターネットやタキゲン製造で働いている先輩が書いた就職活動報告書などで会社を理解した上で履歴書や面接に向かいました。

入りたい企業のこと十分に分かったら面接には自信を持つことができると思います。

それと、立場を変えて、会社はどんな人材が欲しいかを考えてみると就職活動は難しくないと考えます。

最後になりましたが、短い2年間で、大学の先生をはじめとする皆様のおかげで今の良い結果が出たと思います。

大変お世話になった皆様にご挨拶申し上げます。

内定者の声



交通機械工学科 4年 藤本 和也

「就職活動」という響きだけで、最初は不安を抱くばかりでした。

自分の将来の大事な一歩であり、その先の自分にどう繋がっていくのか悩みは尽きる事無くありました。しかし、私は業界会社種類を探るうちにやる気が漲り、就職活動を楽しめるようになりました。

もちろん、壁にぶつかり失敗・挫折を繰り返してきつたのは、そういつたマイナスの要素がたかさんあつたからかもしれなくて、終わつた今は感じています。

自己診断、業界・会社・職種研究、履歴書、面接：初めての事だらけで、時には一日中パソコンの前に座っていたこともありまして。

しかし、私はそこで一人で抱え込まず、身近な人に相談して踏ん張る力と解決のヒントをいただきました。

だから、皆さんも決して一人で抱え込まず、周りの方々に相談して自分を高めていってください。

最後に、内定に至るまでに温かく面倒を見ていただいた方々に深く感謝申し上げます。

株式会社 トヨタテクニカル デイベロップメント

新たなチャレンジ



体育会会長 宮崎 真吾

新入生の皆さん、大学生活には慣れましたか?様々な場所からここ久留米へと集われた訳ですが、見知らぬ土地、新しい学校、そして心の準備もままならないまま大学の講義を受けるという、劇的な環境の変化に戸惑いや不安を感じた事もあった筈です。

ですが、周囲の皆も気持ちには同じです。自ら積極的に仲間を作る行動によって、有意義な生活を送れることだと思います。

先輩になる在校生の皆さんは、そんな一年生を時には厳しく、時には優しく指導をして、活気ある雰囲気をサークルの中で築いてもらいたいものです。

我が大学の体育系サークルには、19もの多種多様なサークルがあります。その中で経験することは、いずれ社会人となって世の中に出て行く時に、きっと役に立つ筈です。

上下関係や言葉使い、挨拶の仕方など、教えてもらう事は、いずれ自分の糧となる事ばかりです。

これからの4年間は長いようで短い4年間となります。どれだけ自分を磨けるか、是非自分を試してみてください。

全力開催 愁華祭



愁華祭実行委員長 辻 拓人

愁華祭は今年で32回目を迎えます。これも偏に後援会・同窓会をはじめ様々な方の御支援、御協力があったことと思っております。

この紙面をお借り致しまして御礼申し上げます。

今年の愁華祭は、10月20日(土)・21日(日)の日程で行います。テーマは「全力開催」です。実行委員一同、このテーマを心に刻んで、愁華祭を創り上げたいと思います。

催し物と致しましては、伝統の衣装を身に纏い練り広げられる沖繩県人会によるエイサー、豪華景品が出品されるピング大会、学園祭の目玉となる芸能人企画など様々な企画を用意しております。

学生らしさを学園祭の場で生かし、来てくださる皆様や模擬店や企画等に参加していただく学生の皆様に、心に残る2日間を創り上げたいと考えております。

愁華祭実行委員会一同、皆様の御来場を心よりお待ちしております。

目標を探して



学術文化会会長 上橋 拓末

新入生の皆さんは何らかの目標を持って入学された事だと思いませんか。一人は勉学のため、一人は交友を求めるといった多種多様なものがある事だと思いませんか。その中でも一つ、サークル活動について話したいと思っています。

本学には多くのサークルがあり、大きく3種類に分かれています。スポーツを主とした体育系サークル、発表や展示、物づくり等を主とした文化系サークル、体育系、文化系サークルを統括している学友会があります。

学友会とは、総務委員会、体育会本部、文化会本部、愁華祭実行委員会と成り立つ会で、学内行事を円滑にすすめるための活動しています。

まだ目標を探している方、サークル活動の中で自分にあつた目標を探してみようか、一人では考えられなかった事、成し遂げられなかった事がみつかるかもしれません。

学友会並びに、文化会本部は、皆さんの学生生活を応援しています。

沢山の経験と出会いを



総務委員会会長 植野真美子

大学では高校や中学とは違い自由な時間が増え、充実した毎日を過ごしている方もいれば戸惑っている方もいると思います。

自由な時間が増えたという事は、出来る事も増えたという事です。今しか出来ない事も沢山あります。サークル活動もその一つでしょう。

その沢山の事にチャレンジして、沢山の経験をし、沢山の人と出会うのは、社会に出てからも、長い人生の中でも決して無駄にはなりません。

後から「あーしとけばよかった。」と思つても後悔先に立たずです。4年間は長いようであつという間に終わつてしまっています。

やってみてください。出来る事であれば私達は喜んでお手伝いします。

沢山の経験をし、沢山の人と出会い、満ち溢れた自信と共に卒業し社会に旅立てる様、これからの大学生活をお過ごしください。

クラブ紹介 R/C技術研究愛好会

部は今年結成したばかりで実績はありませんが、実績がのこせるように練習を行っています。主な活動内容は競技専用ラジコンの大会での優勝を目標に、毎週水曜日にサーキットで行う練習走行、そのほかの日は部室でのマシンのセッティング等です。ラジコンの他にも電子工作、プラモデル、鉄道模型といった模型を全般に活動しています。こんなR/C技術研究愛好会ですが応援をよろしくお願いします。

